

目次

巻頭ごあいさつ	1
大宮盆栽美術館は今	1
「型」から入るということ 笠原清志学長	2
恩師と共に記念館・美術館を愉しむ！	2
「令和」に思う 山崎一穎理事長	3
支部長会議・支部会だより	4
会員だより	5
一紫会事務局より・大学より	6
総会報告	7
観劇会・五十年史のお知らせ	8

第73号

令和元年8月20日発行

ごあいさつ

幹事長 羽吹綾子



一紫会会員の皆様、
ごきげんよう。
厳しい暑さが続いて
おりますが、いかがお
過ごしでしょうか？

昨今の甚大な自然災害に際し、被害に遭われ
た地域の方々に心よりお見舞い申し上げます。
一紫会幹事総会にて、今年度より幹事長を

させて頂いたことになりました羽吹綾子で
ございます。母校の発展に貢献できますよう
に誠心誠意、精一杯努めてまいりたいと思っ
ますので、どうぞご支援の程よろしくお願
い申し上げます。

一紫会は昨年、創設五十周年記念の大切な
年を迎えることができました。これもひとえ
に学園関係者の皆様、恩師の皆様、そして何
より会員の皆様のご支援、ご協力の賜物と心
から感謝いたしております。

三月十八日の一紫会入会式では、平成最後
の卒業生八八八名を迎え、お陰様で会員総数
は三万三千五百九十七名となりました。昭和から
スタートしました一紫会も、平成を経て、新
しい時代「令和」を迎えております。

一紫会五十年の歴史と伝統を大切にしながら、
新たな未来に向かって、これからも一歩
一歩進んでまいりたいと思っております。そ
して、新時代を会員の皆様が目日への希望の
芽を大きく花咲かせられますように、お祈り
しております。

大宮盆栽美術館は今

館長 大野二郎

名誉教授



正式名称は、さいたま市大宮盆栽美
術館、今年度で開館十年目を迎える。
約百年前、大正末期の関東大震災を
契機に、文京団子坂界隈の盆栽園が、盆
栽づくりに適した、広い土地、新鮮な
空気と水を求めて、大宮に集団移住し、
盆栽村を形成。最盛期には三十五の盆
栽園があったが、現在は六園に留まる。
この盆栽園の退潮に歯止めをかける狙
いで設立されたのが、この美術館。
当館は世界で初の公立盆栽美術館
で、日本を代表する一二〇点以上の盆
栽を常設展示し、年間七万五千人の来

館者を迎えている。外国人はその一割弱程度で増加中。

見て楽しむファンへの業務が一段落する中で、一昨年度からは、
日本人、在住外国人、訪問外国人
の三者を対象に習熟度別の「国際
盆栽アカデミー」を開講。名品盆
栽を鑑賞して頂くだけでなく、自
ら盆栽を創り楽しむファンづくり
に着手した。

さらに今年度、当館は海外の公
立盆栽館等との姉妹館提携を目論
んでいる。世界に広がる「盆栽館
ネットワーク」を創り、日本文化「盆
栽」をさらに普及推進する一翼を
担いたい。

小生が特徴ある美術館の館長職
に就任できた訳は、この活動領域
の広さにあるのかもしれない。



2019年

10月13日(日)

恩師と共に 記念館・美術館を愉しむ!

令和元年の
新企画!

山崎一穎先生と巡る森鷗外の軌跡—根津から千駄木へ—昼食付—



森鷗外明治22年新婚時の旧宅・鷗外荘遺構見学
(現水月ホテル)。鷗外記念館見学。

募集人数: 35名(一紫会会員限定) 舞姫の間 座敷23名、
於母影の間 椅子席12名
会 費: 5,000 円
開催日時: 2019年10月13日(日)
11:00(現地集合)~16:00(現地解散)
集合場所: 水月ホテル鷗外荘前
台東区池之端3-3-21 Tel. 0120-266-266
アクセス: JR上野駅公園口・不忍口徒歩12分
京成上野駅公園口徒歩7分
東京メトロ千代田線根津駅2番出口
池之端2丁目交差点横断徒歩5分。

35名
限定



「型」から入るといふこと

— 日本文化の意味するところ —

学長 笠原清志

1 勝手な思い込み



私の実家は上野池之端にありましたが、東京大空襲で家は焼け、私は埼玉県の小川町に疎開

している時に生まれました。小学校に入
学する前に東京に戻りますが、田舎に住
んでいたのが小川や森の中で自由に遊び
まわっていました。習い事もしませんでした
ので、「自分には自分のやり方がある」と
勝手に思い込んでいた節がありました。
小学校の授業でも先生の話はあまり聞か
ず、あえて授業とは違った本を読んでい
たりして、あまり可愛くない生徒であっ
たように記憶しています。

2 習慣、環境の重要性

日本のことわざに、「雀100まで、踊り忘れず」とか「門前の小僧習わぬ経を讀む」といったものがあります。前者は、幼い頃や青年時代の習慣は年を取っても抜けないということであり、後者は普段見聞きしている形だけは分かっているという事で、環境が人に与える影響の大きさを意味しています。

フランスの社会学者ブルデューは、個人または集団がそれぞれの社会的活動の場(学校教育、職業生活、社交、文化、芸術活動など)において文化的有利さの大小を表す概念として文化資本という言葉を用い

ました。具体的に言えば、大学教授、医師、弁護士といったプロフェッショナル(伝統的な専門職)の家庭、あるいは音楽家、美術家等の家庭に生まれた子供は、水を飲み空気を吸うようにして、必要とされる価値観や行動様式を学び成長するわけですから、そうでない家庭の出身者よりも有利に立つということなのです。その上、両親の社会的ネットワークが、さらに有利な条件を与えてくれるということなのです。大切なことは、その人の習慣、おかれた環境、そして生まれ育った家庭環境が、その後の競争において大きな意味を持つということです。

3 日本文化における「型」

日本文化を代表する茶道、華道、香道、そして歌舞伎、能、謡といった世界では、形や「型」は稽古という形で踏襲され、常にその重要性が強調されています。形や「型」には、その分野の先人の知恵と理念が体系的に表現されており、日々の稽古を通じて「道」といった生き方や哲学にまで昇華されていくのが一般的です。武道やスポーツの世界も例外ではありません。

稽古を繰り返しても、それが単なる形だけの繰り返しであつたら意味がありません。茶道における茶の湯は、「気づき」の稽古であり、「気づき」が人を変えていくと言われています。茶道では、繰り返し稽古が続けられ、所作が表層の意識から潜在意識のレベルに入りますと、急速に伸びるという言い方をします。日本の伝統文化の中で生きてきた人たちは、背筋が伸び凛とした美しさを持った方が多くおられるように思います。形や「型」から入り、日々の稽古が人を変えていく、

そして立ち振る舞いの美しさがその人の潜在的能力も発揮させるようになる、と
いうことではない
でしょうか。



4 文化における庶民性

日本文化の特徴は、洗練された形式美、そして形や「型」を通じて到達する理念の素晴らしさにあると思います。もう一つの重要な点は、それらの文化を享受していた階層の庶民性にあると思います。江戸時代には、貴族や武士階級だけでなく、庶民と言われる階層でも、それなりのレベルで茶道、華道、香道、そして歌舞伎、能、謡といったものを享受していました。これは、世界に例のないことです。

ブルデューの文化資本論は、現存する階級社会において、文化をベースにした階層間の競争力の背景を説明するには有効です。しかし、日本文化の下では、庶民でも自らの意志で習い事を始めれば、稽古と「気づき」を通じて、自らの潜在

お申込方法

FAX・ハガキにて 水月ホテル参加希望、〒住所、氏名、会員番号、回生、学科、電話番号をご記入の上、下記宛お申し込み下さい。尚、椅子席(別室)をご希望の方は、椅子席希望とご記入下さい。

〒112-8629

文京区大塚1-5-9跡見学園 跡見校友会一紫会

FAX. 03(3941)8642

※切 9月10日(火)必着

- 申込み書に不備のあるものは受付できません。ご注意ください。
- お申込みいただいた方全員に結果をハガキにてご連絡いたします。
- ご参加が決まった方には、お振込みの詳細をお送りします。
- ご入金確認後 **参加証** をお送りします。当日は参加証を必ずご持参ください。
- キャンセルの方は必ずご連絡ください。ご欠席の場合、返金は出来ませんのでご了承ください。

行程表

11:00 水月ホテル 鷗外荘前集合

11:15 山崎一穎先生ご挨拶。元号解説・鷗外と元号について及び『舞姫』執筆の間にて舞姫初稿話など。

11:30 昼食 鷗外懐石 (「現代の名工」大河原総料理長のもてなし)

13:30 山崎一穎先生と旧宅内散策。

14:00 水月ホテルよりメトロ千代田線根津駅へ。

14:30 文京区立森鷗外記念館拝観

(文京区千駄木 1-23-4 Tel. 03-3824-5511)

森鷗外明治 25 年から晩年までの旧宅・観潮楼址 (志げ夫人と子弟の住居)。

平成 24 年開館 (展示室・図書室・庭園・カフェ・ショップ併設)。館内常設及び企画展「鷗外と永井荷風」拝観・散策。

15:00 以降 自由解散。



1 舞姫の間

2 記念館

3 於母影(おもかげ)の間

4 鷗外懐石

能力まで開花できる特徴を持っています。このような社会を理解するためには、文化資本という言葉以外に、文化における大衆性といった概念を付け加える必要があると思っています。

また、立ち振る舞いの美しさは、他者の目と同様に自分を見るもう一人の自分を持つことになります。一度立ち止まって、心で深呼吸し、他者との関係性を考え直すきっかけを与えてくれます。日本文化が世界で注目されていますが、現代人が抱える過剰なストレス問題を考えるとき、別のサイドから日本文化が注目されてくるのではないかなとも思っています。

私の場合、子供の頃に習い事をしっかりとやるということがありませんでした。学生時代にはギターや油絵、その他のことも多少はかじったのですが、どこまでも自己流でものになりませんでした。あの時にしっかりと基礎から勉強していたらと思うことはあります。人生でどこかに忘れ物をしてきてしまった、という感じは心のどこかにあります。

「令和」に思う

名誉教授・日本近代文学 山崎一穎



元号が「令和」と決まって、種々意見が飛び交っている。「れいわ」なのか、「りょうわ」なのか。私が卒業論文作成のため東京大学の鷗外文庫

閲覧の折、紹介状を受け取った藤堂明保先生(中国語学・文学)は、「君、『万葉集』は(まんようしゅう)なのか、(まん)によしゅう」なのか」と問われ、戸惑ったことを今でも覚えている。

元号の出典考証を最初に試みたのは、森鷗外である。鷗外は天皇のおくり名の出典考証をした「帝諡考」(大正10年3月)を完成させ、元号の出典考証に取り掛かったが、死去により未完に終わった。鷗外に後事を托された吉田増蔵によって一応の完成を見た。この人が「昭和」の元号の選定者である。

元号とは何か。時代に名を付けることをいう。中国に始まり、韓国、安南(今のベトナム)、日本と東アジアの漢字文化圏で使用されてきた。現在は日本しか残されていない。

元号は誰が選び、誰が決めるのか、その歴史過程はひとまず置く。「平成」から新形式が採用された。内閣総理大臣が考案者を委嘱し(三人、五人、三案、五案作成)、官房長官に候補名が提出される。官房長官の元で総理府内政審議官や法制局長官が協議し、有識者、衆参議長の意見を聴き、官房長官が原案を総理に提出し、総理が決定したのが「平成」である。

この度の「令和」は官房長官の元に副長官、総理秘書官等官邸が元号選定に深く関わった。原案取纏めの会議に官房長官の要請で総理が加わり、原案五案に総理の意向で再度「万葉集」の研究者に依頼し、「令和」を得て六案から選ばれた。「平成」になかった総理の意向が重視された選定である。

文庫は先人たちの文章や作法を踏えつつ、少しずつ形を変えて進展していく。本歌取りである。作り変えであり、影響

である。知の踏襲こそ正当性が得られるのである。

「令和」が『万葉集』の巻五の伴旅人の「梅花歌卅二首并序」(漢文)の「序」から採られたことは事実である。『万葉集』の序も先人たちの知を踏襲し、文章の確かさの保証を得ている。

A 是に於て、仲春の令月、時和ぎ、氣清し。

B この日や、天朗らかに、氣清く、恵風和暢なり。

C 時に、初春の令月、氣淑く、風和ぐ。

A が一番古く、B は A を、C は B A を踏襲している。A もそれ以前のもを踏えている。

A 「文選」所収の張衡の「帰田賦」

B 王羲之の「蘭亭序」

C 「万葉集」の大伴旅人の序

万葉びにととっては、「文選」は一般的教養書である。「令和」は張衡の「帰田賦」の影響を強く受けている。

国書だ、「万葉集」だと言ひ募らない方がいい。日本の文化は先進国の透れた文化を摂取して発展してきた。和魂漢才から和魂洋才へと転じつつ、今やアニメの様な独自の文化を外国へ発信する様になっている。雑種文化こそ、先人たちの知の踏襲の成果である。

それにしても「平成」「令和」と元号の選定に様々な問題を残している。鷗外は百年前専門機関の設置を提言し、無視されている。鷗外の提言は今日考えるべき課題である。

全国支部長会議

第4回全国支部長会議が開催されました

5月19日(日)、

第4回全国支部長会議が東武百貨店池袋14Fのバンケットホールにて開催されました。10支部より17名の代表の方々と本部の常任幹事10名、総勢27名での会議となりました。活発な意見交換のもと、支部と本部だけでなく支部間での貴重な情報共有も叶い、和やかな雰囲気の中で大変有意義な会議を終えることができました。



出席者

北海道支部 脇本澄子
北海道支部 北尾 葵子
東北支部 千田 弥生
東北支部 小野寺 晶子
新潟支部 八坂 絵里子
北陸支部 小滝 由美子
甲信支部 坂本 美知子
甲信支部 大井 まゆみ
中部支部 前田 祥子
中部支部 笹木 美樹
関西支部 谷奥 祥子
関西支部 茂呂 江利子
中国支部 松浦 啓子
中国支部 須本 由美子
四国支部 諏訪 千秋
四国支部 秋山 恭子
九州支部 谷口 紀子

支部会だより

第8回 新潟支部会

英14 A 八坂(唐沢)絵里子



2018年

7月8日(日)

燕三条駅から福島方面に車で約40分、溪流沿いに静かに佇む隠れ宿越後長野温泉「風溪荘」にて第8回支部会を開催

いたしました。前回同様駅から送迎バスに揺られて理事長山崎先生、初めてお目にかかる新学長笠原先生、幹事長代行になられた羽吹様他3名の本部の方々、ようこそおいでくださいました。支部からは4名の参加となりましたが、理事長先生の今後の跡見の運営、そして国際交流を主とされている笠原先生からは、アジアの大学と協定を結ぶことでグローバル体験ができるという国際的なお話をお聞きしました。また、先生方の奥様との馴れ初めやご夫婦のやりとり、錯覚している間は結婚生活が継続できるなど、こ

ではの話題で盛り上がり、今までにない距離の



近い支部会となりました。送迎バスをお見送りしたあとは、温泉につかりながら次回の支部会での再会を楽しみに、風溪荘をあとにしました。

第8回 東北支部会報告

国7 B 千田(山崎)弥生

平成30年9月16日(日)福島市「ホテル辰巳屋」にて開催いたしました。当日、駅前でフェスティバルがあり大変賑わっておりました。東北大地震から七年六ヶ月以上が経ち、活気が戻りつつあると実感しました。

山崎理事長、笠原学長、本部から羽吹幹事長代行、常任幹事3名、今回はゲストスタイルで、考古学研究会(20回生最後廃部)小林、後藤両名様をお迎えして15名の跡見らしい和やかな会でした。

山崎理事長からは、人が呼び、人と人が繋がるお話、笠原学長は、30年後の大学はどのようなになるか、「LGBT」性的小数者のお考え、方針等興味深い内容をお伺い出来ました。

今回は、

いわき市在住絵本作家の「忘れたい」を読みながら、あの時のどこにいたかなど3月11日を振り返りました。その後、楽しく充実していた学生



跡見学園女子大学 跡見校友会 一紫会 東北支部会

平成30年9月16日(日) 於 ホテル辰巳屋

時代の思い出話で盛り上がりキラキラした時間を過ごしました。

次回は、大勢の人が参加するにはどのようなしたらよいかと事務局を担当している小野寺晶子さんと、今から打合せをしています。

第8回 北海道支部会レポート

英6 A 宮澤(伊藤)眞智子



平成30年10月21日12時より、跡見校友会一紫会北海道支部会が札幌市「黄鶴」にて開催されました。常任幹事羽吹さん(二十八回生)の司会進行で山崎理事長の御挨拶及び北海道胆振東部地震の御見

舞のお言葉を頂き全員で黙祷をし、次に笠原大学学長の御挨拶を頂き宴会が始まりました。お食事を頂きながら皆様の自己紹介、近況報告があり、それぞれに精力的に活動され生き生きとした生活を送られている事に感動致しました。私は何年かぶりに出席しましたが、皆様とてもフレンドリーで会話ははずみ時の経つのも忘れお話し出来、たくさんの刺激を受けて帰って参りました。

支部長はじめ準備委員の方々、ありがとうございました。

第11回 関西支部会

国10 A 谷奥(坂巻)祥子

「きげんよう」少し照れくさくでも晴れ晴れしい懐かしい響きの挨拶で始まった第11回関西支部会。平成30年11月11日、偶然の一並びの日、跡見花蹊先生が私塾を開いた大阪中之島に立地するリーガロイヤルホテル大阪の「桜の間」に理事長山崎一穎先生、学長笠原清志先生をお迎えし、本部から6名の幹事の方々、関西支部会員14名の総勢22名が参集いたしました。

山崎先生から、学園の現況や今後の展望、笠原先生からは、女子大の意義や大学のグローバル化のお話等々して頂きました。ホテルの総料理長から本日のフランス料理のご説明があつてから会食が始まり、文京キャンパスでのオープンキャンパスの様子や新座キャンパスの今のスライド上映、会員の一言タイムを経てのあつという間の二時間でした。「この同窓会に参加したら、皆様のパワーをいただきまた優しさに包まれても幸せな気持ちになります。」という会員の言葉に共感したのは私だけではなかったと思います。同ホテルのラウンジに場所を移しての二次会も、両先生を囲んで話は尽きなく、最後に、ここ関西から、跡見学園を受験する学生がでるように私達卒業生が頑張りました。という締めくくりに言葉で散会になりました。

またお会いしましょう。それまで、「きげんよう」



第8回 中部支部会

国26 A 前田(五十嵐)祥子



クリスマススムード漂う平成30年12月2日、名古屋ミッドランドスクエア41F「ブルーエッジ」にて、第8回中部支部会が開催されました。理事長山崎先生、新学長笠原先生、常任幹事の方々、そして中部支部、他支部会員総勢29名の皆様にご出席頂き、平成最後にふさわしい、華やかな会となりました。

先生方から跡見の現状、そして今後の学園の展望などをお話し頂きました。会員の皆様からは懐かしい跡見の思い出と共に近況を語って頂きました。ご両親を送られた方、お子様の成長、お仕事、そしてご自身の第2の青春のお話等々、皆様それぞれの人生を受け入れ、前向きにご活躍されているお姿に、感動とパワーを頂いたひとときでした。

二次会終了後もお話し足りない様で(笑)、2年後の再会を固く約束し閉会致しました。中部支部において跡見の絆が益々深まった、素晴らしい時間となりました。皆様、ありがとうございました。

支部会予告

9月29日(日) 九州支部会
10月20日(日) 四国支部会
11月17日(日) 中国支部会

会員だより

第十回 山崎ゼミ会

国7 A 土屋(小野)葉繁子

平成30年10月14日。前夜までの雨も上がり秋の清々しい空気の中、岩手・栃木・埼玉・神奈川・三重そして都内から10名の参加者がまず、新宿西口バスターミナルに集合しました。今回は午前の部と午後の部に分け午前部は新宿文学散歩。平成29年に完成した新宿区立漱石山房記念館(漱石終焉の地)を見学し、山房通り、早稲田通りを歩き「硝子戸の中」に書かれている小倉屋、隣の漱石生誕の碑を写真に収め夏目坂を東新宿へ向かいました。午後の部は山崎先生を囲んでの食事会。まず、山崎先生から『アイヌ神謡集』(知里幸恵編・訳)との出会いと、森鷗外との繋がりのお話を拝聴し、しばし学生時代に戻りました。テーマは、本が人を呼び人が

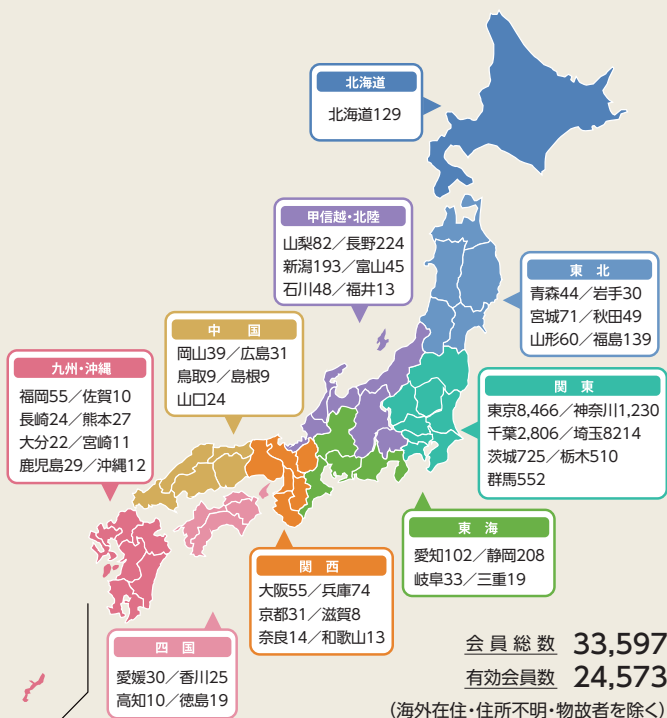
人と繋がる、というもので我々が今ここに集うことの幸せを自分の人生と重ね合わせ、共に文学を学ぶことができました。参加者一人ひとりの近況を先生にご報告し、次回の幹事さんは根津の鷗外記念館の見学を中心に企画することを決めました。今回はメールでお知らせできる方のみの参加でしたが、お忙しい山崎先生の貴重な休日のお時間を共に過ごし、ゼミ仲間の元気を確認し合う素晴らしい秋の日でした。



令和元年度 会員分布状況

(2019.4 現在)

会員の方は在宅地域の支部会へ参加することができます。一柴会では、運営費全般と会費の一部を援助しております。支部会についてのご希望やご意見をお寄せください。(FAX及び郵送、宛先はP8参照)



2018

4/3(火) 大学：大学院入学式
於：跡見学園女子大学 体育館(新座キャンパス)

文学部 467名
マネ学部 306名
観光コミュニケーション学部 230名
心理学部 142名
合計 1145名
編入生 3名
大学院 17名

6/16(土) 一紫会幹事総会
於：池袋東武百貨店14F パンケットホール

6/23(土) 跡見校友会本部総会
於：跡見学園法人棟会議室

6/24(日) 第9回甲信支部会
於：上田東急REIホテル 前山寺拝観

6/29(金) 一紫会奨学金授与式
於：跡見学園女子大学(新座キャンパス)

7/8(日) 第8回新潟支部会
於：越後長野温泉(鳳来荘)

8/20(月) 二紫会だより「72号」発行
於：福島市 ホテル辰巳屋

9/16(日) 第8回東北支部会
於：仙台 国立劇場

10/14(日) 第23回歌舞伎観劇会
於：半蔵門 ホテル辰巳屋

10/21(日) 第8回北海道支部会
於：札幌グランドホテル「黄鶴」

11/3・4(土・日) 紫祭
於：跡見学園女子大学(新座キャンパス)

11/11(日) 第11回関西支部会
於：大阪リーガロイヤルホテル

11/中旬「一紫会五十年史」およびDVD
『跡見のキャンパス』と『昔』発行
於：名古屋ブルーエッジ

12/2(日) 第8回中部支部会
於：名古屋市ブルーエッジ

2/27(水) 新幹事との顔合わせ
於：跡見学園法人棟 一紫会会室

3/11(月) 海外研修助成金授与式
於：跡見学園女子大学(文京キャンパス)

3/18(月) 大学：大学院卒業式
一紫会入会式

於：文京シビックホール

3/23(土) 大学主催「第15回桜まつり」
於：跡見学園女子大学(新座キャンパス)

一紫会事務局より

平成31年3月11日

海外研修助成金授与式

於：文京キャンパス



平成31年3月23日
大学主催「第15回桜まつり」
於：新座キャンパス



大学より

「跡見教職ネットワーク」が
スタートします!!

学長 笠原清志

「教職」というキーワードでつながる新しい絆がスタートしました。

「跡見教職ネットワーク」は、以下のような取り組みを通じて、教職でのキャリアを積む一紫会会員と、教職を目指す学生を応援します。

◇跡見学園女子大学を卒業して
中学校、高等学校で教職に就いている方々と在学生との交流の場となること。

◇卒業生同士が、教員としての目標や悩みを共有し、情報交換をしながら成長しあえる場となること。

◇本学における交流会やセミナーにおいて、現場でのご経験を教職志望の在学生に伝え、教職への夢を応援していただくこと。

ネットワーク作りの第一歩として、中学校、高等学校の教育現場に立っていらっしゃる跡見学園女子大学の卒業生の名簿を作成したいと思えます。恐れ入りますが、下記のとおり名簿記載情報を、差し支えない範囲でお知らせいただけますでしょうか。

- 1 氏名(旧姓がある場合には旧姓名も明記してください)
- 2 卒業学部・学科、卒業年度
- 3 勤務先名、担当教科
- 4 住所・電話番号
- 5 (自宅/勤務先の別)メールアドレス

送付先: cherry-mi@atomi.ac.jp
文学部研究室

個人情報取り扱いには万全の注意を払ってまいります。今後、この名簿を活用して、イベントのご案内や、セミナー講師のご依頼などをさせていただきます。

ご協力のほど、よろしく申し上げます。

受賞された先生方

- 野島一彦先生(心理学部教授)
- 日本心理臨床学会学会賞受賞
2019年6月9日

大高保二郎先生

- (元美学美術史学科教授)
- 地中海学会賞受賞
2019年6月8日

退職された先生方

文学部教授

藤崎康彦先生・岩田秀行先生
篠塚三男先生・杉本昌裕先生

土屋博映先生・中野敬子先生
大塚博先生・横山太郎先生

マネジメント学部教授

山田満先生

観光コミュニケーション学部教授

小川功先生・種田明先生
松坂健先生

心理学部教授
伊澤成男先生
観光コミュニケーション学部准教授
南里隆宏先生

訃報

国文学科名誉教授
菊地弘先生
平成30年10月30日 享年86歳
一般教養教授
中村典男先生
平成30年11月6日 享年90歳
文化学科教授
大江一道先生
平成31年2月27日 享年90歳
文化学科教授
下川逸雄先生
令和元年5月23日 享年91歳
謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。

オープンキャンパス開催日程一覧

新座キャンパス

2019年9月29日(日)
10時~15時(受付開始9時30分)
2019年11月2日(土)・11月3日(日)
紫祭と同時開催
10時~15時(受付開始9時30分)

文京キャンパス

2019年11月24日(日)
10時~15時(受付開始9時30分)

総会報告

令和元年六月二十二日(土)、池袋東武百貨店十四階バンケットホールにて、令和元年度跡見校友会一紫会総会が行われました。

四十九名の幹事が参加する中、今年度の活動計画と予算が承認され、左記の通り新役員が承認されました。

■新常任幹事紹介

幹事長 羽吹 綾子
副幹事長 藤澤 恵美
常任幹事 須永マサ江
若泉 雪子
吉田真知子
大塚 和子
藤田理恵子
土田りかこ
三原 幸恵
丸子 純



■新幹事紹介

本年度第51回卒業生より、以下の方々が一紫会幹事をお引き受けくださいました。紙面にてご紹介いたします。(敬称略五〇音順)

《文学部》

人文学科

伊藤舞星・原本紗李

現代文化表現学科

大上久美子・野本真優・米倉夏鈴美

コミュニケーション文化学科

寺坂美紀・野口晴代・古園あかり

臨床心理学科

松本真依・宮部瞳・余川茉祐

《マネジメント学部》

マネジメント学科

井上舞・齊藤梨沙・橋本明香里・古谷優実

生活環境マネジメント学科

西村文希

《観光コミュニティ学部》

観光デザイン学科

井本芽衣・小田垣楓・船橋美咲

コミュニティデザイン学科

湯浅葉月

■第52回紫祭のご案内

11月2日(土)・3日(日)の両日、新座キャンパスにて「紫祭」が開催されます。

「卒業生の部屋」として1号館1130室をご用意しています。休憩所としてお使いくださいませ。皆様のお越しをお待ちしています。

●一紫会公式ホームページ作成について

一紫会では、今まで「一紫会だより」の紙面で活動のお知らせ・報告等をして参りましたが、インターネットからも情報が取得出来るよう公式ホームページの作成準備を進めております。

もちろん紙媒体の一紫会だよりも引き続き発行致しますので、皆さまのライフスタイルに合わせてご活用いただき、一紫会の活動をより身近に感じて頂ければ幸いです。

2020年度中の公開を目指し、現在は掲載内容の選定や、デザイン案等を出しながら会議を重ねております。会員の皆様にはどうぞ楽しみにお待ちいただきますように、また支部の皆様・学園の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■お詫びと訂正

昨年発行いたしました「跡見校友会一紫会五十年史」の中で誤植がありました。関係者の皆様には心よりお詫び申し上げ、左記の通り訂正いたします。

五〇頁下段 大塚博
文学部教授
一四三頁上段 一〇行目
跡見学園女子大学庶務課

▼平成30年度収支決算報告

自平成30年4月1日
至平成31年3月31日

(収入の部)					(単位:円)	
収入	科目	予算額	決算額	増減額	備考	
収入	会費	22,540,000	22,360,000	△180,000	1118名	
	事業収入	200,000	388,920	188,920		
	受取利息	10,000	91	△9,909		
	前年度繰越金	381,008	381,008	0		
合計		23,131,008	23,130,019	△989		
(支出の部)						
事務費	科目	予算額	決算額	増減額	備考	
事務費	通信費	2,500,000	3,522,390	1,022,390		
	印刷費	1,500,000	1,906,416	406,416		
	企画費	9,000,000	6,870,705	△2,129,295		
	記念品費	3,000,000	2,552,292	△447,708		
	慶弔費	50,000	21,200	△28,800		
	校友会入会金	252,600	252,600	0	842名	
	人件費	2,000,000	1,992,000	△8,000		
	交通費	800,000	768,366	△31,634		
	会議費	300,000	326,219	26,219		
	交際費	200,000	230,220	30,220		
	備品費	100,000	222,314	122,314		
	消耗品費	200,000	147,859	△52,141		
	監査費	60,000	60,000	0		
	雑費	60,000	61,064	1,064		
奨学金	予備費	8,408	0	△8,408		
	大学院奨励金	600,000	416,850	△183,150		
	修学援助金	1,000,000	977,500	△22,500		
	海外研修助成金	1,500,000	1,610,000	110,000		
小計		23,131,008	21,937,995	△1,193,013		
本年度剰余金		0	1,192,024	1,192,024		
合計		23,131,008	23,130,019	△989		

全会員数 33,597名 終身会費預り金 60,120,000
終身会費積立金残高 25,454,779

▼令和元年度収支予算

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

(収入の部)					(単位:円)	
収入	科目	予算額	備考			
収入	会費	22,120,000	1106名			
	事業収入	50,000				
	受取利息	10,000				
	前年度繰越金	1,192,024				
合計		23,372,024				
(支出の部)						
事務費	科目	予算額	備考			
事務費	通信費	500,000	※1 下記参照			
	印刷費	5,000,000	※1 下記参照			
	企画費	7,500,000				
	記念品費	3,000,000				
	慶弔費	50,000				
	校友会入会金	266,400	888名			
	旅費・交通費	3,000,000	※2 下記参照			
	会議費	300,000				
	交際費	250,000				
	備品費	50,000				
	消耗品費	200,000				
	監査費	60,000				
	雑費	50,000				
	予備費	45,624				
奨学金	大学院奨励金	600,000				
	修学援助金	1,000,000				
	海外研修助成金	1,500,000				
合計		23,372,024				

※1 前年度まで通信費に計上していた一紫会だより発送費を今年度より印刷費に合算して計上した。
※2 前年度まで別科目として設定していた人件費と交通費を今年度より旅費・交通費という科目に一本化した。

一紫会主催 第24回 歌舞伎観劇会 ご案内

三宅坂 国立劇場 10月歌舞伎公演 限定120名様
令和元年10月14日 (月・祝) 昼の部 12時開演 — 昼食付 —



四世鶴屋南北Ⅱ作
国立劇場文芸研究会Ⅱ補綴
通し狂言 天竺徳兵衛韓喃 三幕六場

序幕 北野天満宮境内の場
同 別当所広間の場
二幕目 吉岡宗観邸の場
同 裏手水門の場
大詰 梅津掃部館の場
同 奥座敷庭先の場

天竺徳兵衛 中村芝翫 ほか

徳兵衛が繰り出す奇想天外な妖術の数々！
屋敷を押しつぶす大蝦蟇の出現と屋体崩し！
蝦蟇の中から突如として登場する徳兵衛の水中六方！
本水を用いた意表を突く早替わりなど、一瞬たりとも見逃せない場面の連続をどうぞお楽しみください！

お申込方法

FAX・ハガキにて、観劇会参加希望、〒・住所、氏名、会員番号、回生、学科、電話番号、同伴者名(続柄)をご記入の上、下記連絡先までお申し込み下さい。

応募の心得

- 会員同士の場合は、代表者が全員のお名前その他の明記の上、お申込み下さい。
- 同伴はご家族の方一名に限らせていただきます。(会員同士の参加優先)
- 観劇該当の方へは入金方法・詳細等をハガキでご案内いたします。
- ご入金確認後 **参加証** をお送りします。参加証のない方は、当日ご入場はできません。
- キャンセルの方は必ずご連絡ください。返金は出来ませんのでご了承ください。
- 観劇当日は同伴者も必ず受付へお越し下さい。

- メ切 9月10日(火) 必着
- 会費 会員 六千円 (席料+昼食)
- 同伴(家族一名) 八千円
- 申込み受付
初回お申込みの方優先で申込みを受け付けます。
申込み書に不備のあるものは受付できません。
ご注意ください。
お申込みいただいた方全員に結果をハガキにてご連絡いたします。

各種お申し込み・ご連絡先

〒112-8629 文京区大塚1-5-9 跡見学園
跡見校友会一紫会
FAX 03(3941)8642



— 会員所在確認のお願い —

近年、災害による移転など、転居先不明が多数出ています。ご友人が転居されていて、会報が届いていないことをご存知の方は、是非ご本人様より転居のご連絡を頂きますようお願いください。

卒業生の皆様との絆を大切にするため、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

— 住所・氏名の変更方法 —

以下の内容を記入し、住所変更と題して上記の一紫会事務局まで FAX または封書・ハガキでお送り下さい。

1. 会員番号 (分かる方のみ記入。一紫会だよりが届いている方は、封筒宛名の下 No. です。)
2. 卒業回生・学科名・クラス (回生が不明の場合は、卒業年でも可)
3. 氏名 (フリガナ)
4. 旧姓 (フリガナ)
5. 現住所 (郵便物を受け取ることでできる連絡先。郵便番号必須・様方など)
6. 電話番号 (携帯可)

『跡見校友会一紫会五十年史』販売のお知らせ

一紫会では創設五十周年を記念し、記念本およびDVDを制作致しました。購入を希望される方は、FAX・ハガキにて一紫会五十年史記念本またはDVD希望、〒・住所、氏名、会員番号、回生、学科、電話番号をご記入の上、左記宛お申し込みください。

お申込みいただいた方へは、ハガキにて入金方法をご案内いたします。入金確認後、ご希望の記念本・DVDを郵送にてお送りいたします。

- ◆ 記念本『跡見校友会一紫会五十年史』
二、〇〇〇円/冊 (税込み・送料込み)
- ◆ DVD『跡見のキャンパス 今と昔』
一、〇〇〇円/枚 (税込み・送料込み)

